



seishin

Preview

104

誠信プレビュー

目次		
恋の題, 題の恋	小川剛生	3
Preview 読者の皆様へ		7
Review 「臨床心理学」に関する本		15

恋の題, 題の恋——武家歌人の題詠

〈ドタ・キャン〉という語を日常生活で耳にする。これがとくに切実に感じられるのは、男女の間であろう。急な約束不履行は、相手の不誠実とともに、自らの不甲斐なさを思い知らされる気分となる。このような意識はむしろ伝統的・古典的な心性と言える。

実際、中世の和歌に「臨期違約恋」という題がある。「ごにのぞみてやくをたがふるこひ」あるいは「りんごやくをたがふるこひ」と訓む。これは「変恋」という題が発展したものと見られる（「変な恋」ではない。念のため）。この題で詠まれるのは、（逢うとの）約束を一方向的に破棄された自分、である。この題が確立すると、変恋→変（違）約恋→臨期違約恋・毎夜違約恋・依雨違約恋・中人違約恋……と、さまざまなヴァリエーションを生み、詠法も複雑高度になっていった。源平合戦の少し前、後白河法皇御所の歌合でこの題が出され、鶴退治ぬえで有名な源頼政は、この歌合で次のように詠んでいる。

いかにさは下裳の紐をときかけて思ひかへすは
また結びつるけんしゅんもんいんほくめんうたあわせ（建春門院北面歌合）

「どうということか。下裳の紐をほどきかけて結んで

しまうとは。さては心変わりしたのか」という。かなり大胆な発想の和歌である。判者の藤原俊成は「期にのぞむ心ぞあまりさへ近づきてきこえ侍りし（臨期といってもあまり接近しすぎに見えますよ）」と皮肉を言っている。

ただし、頼政が武家出身であるから卑俗な和歌を詠んだ、というのではない。頼政が意欲的な歌人であったからこそ、「臨期違約恋」という難しい題に対して、題意を満たすように、しかし題字をそのまま説明することはせず三十一字に置き換えようとした試みなのである。

意思伝達的手段、社交の道具であった和歌が（王朝貴族の機知に富んだやりとりを考えればよい）、あらかじめ題を得て机上で作るものとなる、つまり文藝として独立したのは、ちょうどこの頼政の出る少し前、十二世紀初頭とされている。和歌に適した題材と表現が、主に古今集以下の王朝和歌の中から選択されていった結果である。それは、長い年月をかけて精撰錬磨されてきた不滅のトポスといってよい。恋の和歌は、恋愛のどのプロセスを詠んでもよいが、やはり忍恋（男が思いを隠して懊悩すること。平兼盛の「しのぶれど……」の歌が典型である。これも歌合での詠）・逢不逢恋（一度逢った後逢えない状態）・恨恋（女が不実な男を恨む内容）などが好まれたのは、最も恋歌としてふさわしいからである。式子内親王の、

玉の緒よたえなばたえねながらへば
しのぶることのよほりもぞする

は、経験を踏まえてと解釈され、具体的な恋人の名が上がりたりしたが、これは「忍恋」という題で詠まれた題詠歌で、「忍恋」は男が自らの思いを隠す、というのが本意なのだから、男の立場での和歌であると考えられ

るようになった。たとえ実体験でないからといってこの歌の評価が下がることはあるまい。

題詠こそ歌人たちが自らの手で発展維持してきた文学形式である。中世の歌人は、題をより複雑に、かつ分類を精緻なものにした。百首歌・千首歌などのまとまった歌数を、あらかじめセットにされた歌題で構成して詠む創作形態も、題詠の発展に寄与した。一般的な四季・恋・雑の部立では、恋歌に二割が割り当てられるのが通例なので、すると千首歌では恋歌が延々と二百首も続くことになる。

実際、南北朝時代の『師兼千首』という千首歌では、「忍恋」だけでも、忍通書恋・知身忍恋・為人忍恋・相互忍恋・忍親昵恋・依忍増恋・依忍難逢恋・忍切恋・忍久恋・忍涙恋とならんでいる。これだけの題を、手をかえ品をかえ、詠み続けていくだけでも結構な鍛錬である。作者の花山院師兼かざんいんもろかぬは決して有名な歌人ではない。しかるにこの千首、後世広く読まれている。これは、必ずしも作品のできばえによるのではなく、面白い題に富んでいたの、作歌手引き書として参考にされたからに違いない。

さきごろ、『武家はなぜ歌を詠むか—鎌倉将軍から戦国大名まで』（角川叢書）という著書を上梓した。武家の詠んだ和歌には、いわゆる武士らしい、荒削りではあるが雄渾な表現、あるいは時事的社会的なテーマを詠んだ和歌があるのか、と尋ねられる。もちろん、そのような生々しい感慨が出た和歌は、公家・武家問わず見られるが、数はごく少なく、また大した価値を認められていない。武家歌人は伝統の枠組みをよく守り、熱心に題詠の手法を学んだのである。規範となる古歌を歌題別に分類集成した、いわゆる類題和歌集が中世には陸続と編ま

れたが、その多くは武家歌人の手で編纂されているのである。江戸城を築いた太田道灌も、いくさの隙を盗んで、『さいぎよくるいだい碎玉類題』という集を撰んだらしい（残念ながら散佚）。題詠の研鑽こそ、歌道執心の中心であったといわなければならぬ。

題詠は現実の感動と遊離した知的遊戯に過ぎない、という非難はさすがに最近では聞かれなくなったが、作品はすぐに分かる個性や魅力には乏しい。しかし、与えられた題をいかに消化し、自らのものとして表現しているか、という点を分析すれば、歌人間で違いを見出すことができる。何より武家歌人は、題を得て沈思して詠ずることが精神上の陶冶になると見ていたふしもある。

もっとも、これは花鳥風月に彩られた古典的世界の枠組みを再確認することでもあるので、伝統的な季節感を喪失しつつある現代では、他人がその面白さを追体験することは難しい。中高の国語の先生さえ、韻文を教えることを敬遠する時代である。ただし、人間が年を取ることは、今も昔も変わらない。古典無用論の横行する現代、そのことに、はかない期待をかけるべきかも知れない。かつては見向きもしなかった作品に後年惹かれる経験は誰にでもある。そこで再び源頼政の一首。

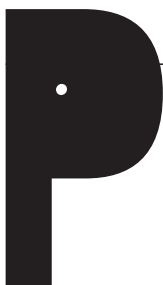
いにしへはいつもいつもと思ひしを老いてぞ花に
目はとまりける

さすが頼政卿よ、著者の言いたいことを詠んでくれたとは思ふものの、これも「老後見花」という題詠歌である。年齢や健康状態と関係なく「老人らしく振る舞う」ということも日本文学の重要なトポスであった、という余計な注をつけておく。

（おがわたけお / 国文学研究資料館准教授）

読者の皆様へ

誠信書房出版案内



小社の出版物は全国の主要書店の店頭にてお求めいただけます。店頭がない場合には注文にてお取り寄せください。

直接送付をご希望の場合は、お名前ご住所（お届け先）、電話番号、ご注文の書名、冊数を明示のうえ、電話、FAX、e-mail (sei@seishinshobo.co.jp)にてお申し込みください。代金引換郵便にてお送りいたします。送料は1回につき一律200円(税込)です。お受け取りの際に代金(価格合計+消費税+送料)を郵便局係員にお支払いください。

公費でのご購入などで、代金引換郵便が不都合な場合には、ご一報ください。

小社の新刊書および既刊書は、インターネットのホームページでもご案内しておりますので、ご利用ください。

本誌をご希望の方は、直接小社にお申し付けください。定期的にお送り（無料）いたします。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-20-6

電話 03-3946-5666 Fax 03-3945-8880

<http://www.seishinshobo.co.jp>

2月20日刊行

インターネット心理学 のフロンティア

個人・集団・社会

三浦麻子・森尾博昭・川浦康至 編著

本書は、国内外の最新の研究にもとづき、パソコンや携帯が作り出すデジタルの世界の影響力を、「個人」「対人関係」「集団」「社会」の四つの切り口から解説する。ブログ記事の分析、韓国のネット論など、加速度的に変化しつづける、インターネット心理学研究の最前線がわかる一冊。



-
- 第1章 日本のインターネット心理学研究の歴史
 - 第1部 インターネットと自己
 - 第2章 インターネット利用と精神的健康
 - 第3章 インターネットにおける自己呈示・自己開示
 - 第2部 インターネットと対人相互作用
 - 第4章 CMCと対人過程
 - 第5章 CMCと対人関係
 - 第3部 インターネットコミュニティ
 - 第6章 ブログ・ブロガー・プロゴスフィア
 - 第7章 知識共有コミュニティ
 - 第4部 インターネットと社会
 - 第8章 地域社会とインターネット
 - 第9章 文化とインターネット

みうら あさこ：神戸学院大学人文学部准教授

もりお ひろあき：札幌大学経営学部准教授

かわうら やすゆき：東京経済大学コミュニケーション学部教授

A5判 300頁 / 定価 2940円 (本体 2800円 + 税)

ISBN978-4-414-30169-4

3月20日刊行予定

TEMではじめる 質的研究

時間とプロセスを扱う研究をめざして

サトウタツヤ 編著



TEMではじめる研究とは、個人の人生を時間と共に描くことを目標とする質的研究の流れの新しい方法論である。多くの人のデータを取ったり平均を出したりせず、フィールドワークやインタビューのデータをもとに研究が行われる。人間と環境を一種のシステムとして考え、関心があることには何でも使える人間の多様性や複雑性を扱うための方法論となっている。

1 TEMの発祥とT・E・Mの意味

TEM発祥の時間的経緯／不妊治療経験者の子どもを望む思いの変化プロセス——不妊治療では子どもをもつことができなかった女性の選択岐路から

2 HSSの発祥とTEMとの融合

HSSの発祥とTEMとの融合／TEMを構成する基本概念／第一期TEMの完成

3 TEM動乱期（2006 - 2007）

第一期TEM完成まで／未婚の若年女性の中絶経験の変化プロセス——その径路をTEM図で描いてみる／他

4 概念の豊富化と等至点からの前向型研究

ZOF（目的の領域）による未来展望・記号の発生と「発生の三層モデル」／「大切な音楽」を媒介とした少年受刑者の語りの変容と意味生成の過程

5 方法論に関する問いかけ

サンプリング論とHSS／仮説生成ツールとしてのTEM／ライフストーリー研究からみたTEM／TEM図の線の見方／味方——公約数的研究から公倍数的研究へ／他

6 TEMがもたらす未来

未来に向かう——過去を形成する 永続する 不確定性ととも生きる／時 文化 厚生

さとう たつや：立命館大学文学部教授

A5判 238頁 / 定価 3150円（本体 3000円 + 税）

ISBN978-4-414-30170-0

3月25日刊行予定

日本の心理臨床 1 カウンセリング実践史

氏原 寛 著



わが国のカウンセリング界に草創期から現在までずっと身を置いてきた著者が、今日にいたる日本の心理臨床の形成史を自らの実践体験を重ね合わせてたどりつつ、今なお深化をとげる著者独自の「意識の場」理論から、心理臨床は如何にあるべきか、カウンセラーは何をすべきかを、明日を担う若き心理臨床家に熱く語りかける渾身の書である。

-
- 第1章 境界人
 - 第2章 カウンセラーは専門職である
 - 第3章 ロジャーズのころ
 - 第4章 援助の人間関係
 - 第5章 意識の場-「理論」のはじまり
 - 第6章 意識の場
 - 第7章 カウンセラーは何をするのか
 - 第8章 思考的共感—感じるためには知らねばならない
 - 第9章 感覚的共感

☆シリーズ「日本の心理臨床」全6巻（企画・編集 皆籾 章）
本シリーズは、臨床心理学／心理臨床学が内包するこの学問特有の性質としての「事例性」を、人間の営みに真に意味ある知として発信していくために、生きた人間との専門的実践からもたらされる知を積極的に世に問うものである。それは、科学的方法論を基盤とする臨床心理学を土台としつつ、新たな方法論的基盤を創設していこうとする姿勢に現れている。転換期を迎えている日本の心理臨床に一石を投じるであろう。

うじはら ひろし：帝塚山学院大学大学院人間科学研究科教授

A5判 254頁 / 定価 2940円（本体 2800円 + 税）

ISBN978-4-414-41314-4

3月20日刊行予定

自閉症という体験

失われた感覚を持つ人びと

ドナ・ウィリアムズ 著

川手鷹彦 訳

本書は自伝ではない。著者自身である自閉症者の内的世界を独特の文章で描写している。発達障害のなかでも理解されにくい自閉症者の感覚について「自閉症」の体験という言葉で語っている。「自閉症」というレッテルを貼って自分たちと差異化し、理解できない存在として片づけようとする私たちに、彼らの豊かで驚くべき世界を広げてくれる。ドナによって私たちは未知の世界の扉を開くことができる。

- 1 起源
- 2 私は誰？
- 3 「社会性」の本質
- 4 何もないものみな
- 5 感覚の成り立ち（メカニズム）
- 6 共振について
- 7 答える機会を自らに与えること
- 8 「賢さ」を得ること
- 9 「亡霊を見ること」
- 10 戦争か成長か
- 11 戯れ言と理念
- 12 進歩なのか
- 13 文化交流を越えて
- 14 多様性
- 15 心霊能力者（サイキック）？
- 16 なぜ誰も話さないのか
- 17 想像

かわて たかひこ：演出家, 言語セラピスト, 芸術・言語セラピー研究所「青い丘」主宰

四六判 254 頁 / 定価 2415 円 (本体 2300 円 + 税)

ISBN978-4-414-30418-3

生のリアリティと 福祉教育

福山清蔵・尾崎新 編著

立教大学コミュニティ福祉学部教員による、福祉実践家養成に特化しない教育のあり方を問う注目の書。生きることの意味の深化と、自らが抱えた逃れられない戸惑いについて試行錯誤した教育実践、そして問い続けた教育理念を紹介する。学生のゆらぎに寄り添う教育者の視線は、「福祉」と「教育」の狭間でアイデンティティを模索する学部教育の未来に向けられている。

第Ⅰ部 実践としての福祉教育

- 第1章 グループワークの場所
- 第2章 実習教育のちから——ある実習生と職員の対話に注目して
- 第3章 障害をもつ当事者教員は学生にどのようにかかわったか
- 第4章 教える側が学びながら——怒りと勇気と優しさ
- 第5章 病院実習の位置づけと「学び」
- 第6章 みようとしなければみえないものをみる力

第Ⅱ部 コミュニティと向き合う福祉教育

- 第7章 バリアフリーを考える教育——知ること、経験することの意味
- 第8章 高島町における地域福祉連携教育の試み——「民俗としての福祉」の視点からとらえなおす
- 第9章 自治体政策の現場からの学び
- 第10章 障害者スポーツへの学生の取り組み

第Ⅲ部 福祉教育理念の再考

- 第11章 「いのち」について考え、伝えること
——物語の基盤としての「医食農想」の検討を通して
- 第12章 *vitae dignitati* ——立教大学コミュニティ福祉学部の標語について

ふくやま せいぞう：立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科教授

おざき あらた：立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授

A5判 284頁 / 定価 2520円（本体 2400円 + 税）

ISBN978-4-414-60145-9

3月30日刊行予定

社会保障論概説

一圓光彌 編著

本書は、第6版を数えた『社会保障論』のリニューアル版。2009年度より社会福祉士の養成課程カリキュラムが変更になることから、書名も目次構成も刷新し、新たな執筆陣にて刊行。搭載情報は2008年末の社会保障審議会答申を網羅した最新版。複雑化する年金制度や保険制度を重点的にわかりやすく解説。この一冊で社会保障の成り立ち・変遷・今後の展望がわかる。

第1章 現代社会の社会保障

社会保障の形成と社会保障理論の発展／社会保障の概念と規模／社会保障の役割と意義／現代の社会保障の課題

第2章 社会保障制度の体系と各制度の概要

社会保障制度の体系／各制度の概要

第3章 労働保険

雇用保険（失業保険）／労働者災害補償保険（労災保険）

第4章 年金制度

公的年金制度の仕組み／日本の年金制度の歩み／日本の年金制度の現状／日本の年金制度の課題

第5章 医療保障制度

医療保障の仕組み／日本の医療保険制度の歩み／日本の医療保険制度の現状／日本の医療保険制度の課題

第6章 介護保険制度

介護保険の歩み／介護保険の現状／介護保険の課題

第7章 民間保険

社会保障と民間保険／民間保険の現状と課題／民間保険の加入にあたって

第8章 社会保障の実施体制と専門職

医療保険と年金保険の管理運営／社会福祉の実施体制／社会保障に関連する専門職

いちえん みつや：関西大学政策創造学部教授

A5判 214頁 / 定価 2415円（本体 2300円 + 税）

ISBN978-4-414-60144-2

2月25日刊行

作業療法士・理学療法士 臨床実習ガイドブック



京極 真・鈴木憲雄 編著

養成全課程の約2割を占める単位数が必須の臨床実習。本書は、この避けて通れない実習の全体像を時系列に並べ、Q&A方式で解説。80項目にわたるQは、実習に関する学生の悩みや疑問のなかでも、特に多く寄せられるものを厳選。また、実習指導者のあり方にも言及されており、実習生はもちろん受け入れ施設にも参考となる、臨床実習のすべてがわかるガイドブック。

はじめに——本書を読めば臨床実習がもっと実り多きものになる

第1章 臨床実習前

- 第1節 臨床実習の基礎知識
- 第2節 臨床実習前の「実習」
- 第3節 臨床実習前の呪縛を克服する方法

第2章 臨床実習中

- 第1節 初日の迎え方
- 第2節 臨床実習の実際
- 第3節 患者さんとの関わり方
- 第4節 実習指導者との関わり方
- 第5節 レポートの書き方
- 第6節 ハラスメントへの対応
- 第7節 実習成績評価の実際

第3章 臨床実習後

- 第1節 臨床実習後に臨床実習地と関わるコツ
- 第2節 反省と展望

きょうごくまこと：社会医学技術学院作業療法学科専任講師，作業療法士

すずきのりお：社会医学技術学院作業療法科学科長補佐，作業療法士

A5判 284頁 / 定価 2940円（本体 2800円＋税）

ISBN978-4-414-80203-0

レビュー誠信書房出版案内

テーマ

「臨床心理学」に関する本

R



2003～2005年刊行

臨床心理学全書 (全13巻)

大塚義孝・岡堂哲雄・東山紘久・下山晴彦 監修／河合隼雄 序文
大学院研究科における臨床心理学専攻の専門カリキュラムに準拠し、臨床心理学に求められる水準を明確に示したテキストの決定版。わが国の「心の専門家」が総力を挙げて「臨床心理学」の新たなパラダイムを提示した密度の濃い内容となっている。臨床心理士を志すすべての人必携のシリーズ。

第1巻	臨床心理学原論	大塚義孝編	4515円
第2巻	臨床心理査定学	岡堂哲雄編	5040円
第3巻	臨床心理面接学 その歴史と哲学	東山紘久編	4200円
第4巻	臨床心理実習論	下山晴彦編	5355円
第5巻	臨床心理学研究法	丹野義彦編	4725円
第6巻	臨床心理査定技法1	下仲順子編	5670円
第7巻	臨床心理査定技法2	皆藤章編	3570円
第8巻	臨床心理面接技法1	伊藤良子編	3570円
第9巻	臨床心理面接技法2	田寫誠一編	4305円
第10巻	臨床心理面接技法3	亀口憲治編	3780円
第11巻	臨床心理的コミュニティ援助論	金沢吉展編	3360円
第12巻	学校臨床心理学	倉光修編	4410円
第13巻	病院臨床心理学	大塚義孝編	4830円

B5判平均380頁 価格は税込です

ISBN978-4-414-41321-2～41333-5

seishin preview 104
2009年3月5日発行

株式会社 誠信書房
〒112-0012
東京都文京区大塚 3-20-6
電話 03-3946-5666
FAX 03-3945-8880
<http://www.seishinshobo.co.jp/>

Paper: グラフイーエコ